

経済・金融 フラッシュ

中国経済:14年9月の製造業PMI は51.1%で横這い

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

9月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は前月比横這いの51.1%、拡張・収縮の分岐点となる50%を24ヵ月連続で上回った。企業規模別では、大型企業は前月より0.1%ポイント上昇、中型企業も0.1%ポイント上昇したが、小型企業は0.5%ポイントの悪化となった。新規輸出受注指数は50.2%で前月より0.2%ポイント上昇、生産経営活動予想指数は56.0%で前月より1.9%ポイントの悪化となった。全体としては、住宅市場の変調などで高まりつつあった景気失速懸念を払拭するほど良くはないものの、若干薄れさせる内容となった。

【 9月の総合指数は横這い 】

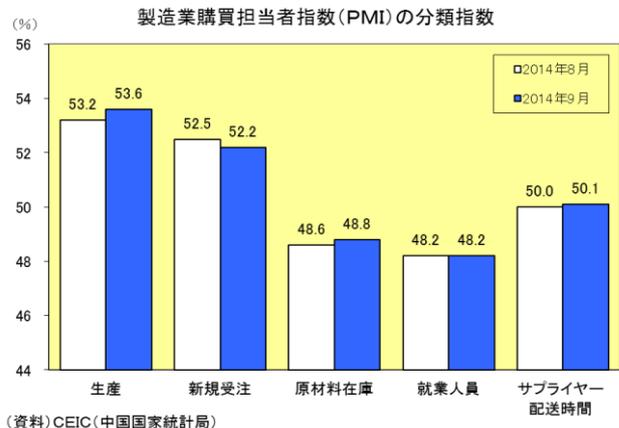
10月1日（水）、中国の国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は2014年9月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。総合指数は前月比横這いの51.1%だった。今回も低下すると2ヵ月連続となり景気失速懸念が高まりかねない状況ただけに、一安心できる結果となった。また、拡張・収縮の分岐点となる50%は24ヵ月連続で上回っている（図表-1）。

総合指数を構成する5つの分類指数を見ると、生産指数が前月より0.4%ポイントの改善、原材料在庫指数が0.2%ポイントの改善となる一方、新規受注指数は0.3%ポイントの悪化、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は0.1%ポイントの悪化、就業人員指数は横這いだった（図表-2）。寄与度を計算して見ると、加重割合が25%の生産指数が0.1%ポイントのプラス寄与となったものの、同30%の新規受注指数が0.1%ポイントのマイナス寄与となったことで相殺した形である。

(図表-1)



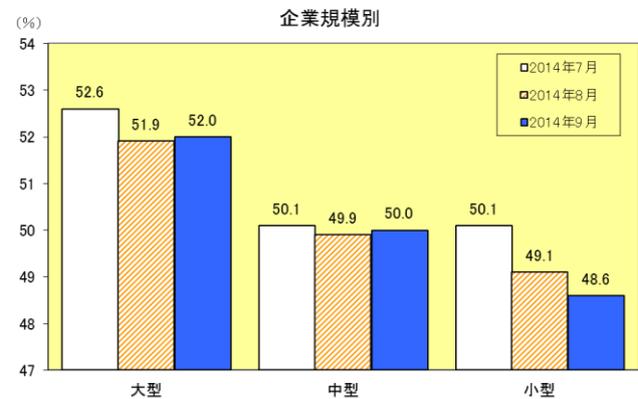
(図表-2)



【 小型企業は2ヵ月連続で50%割れ 】

企業規模別に見ると、図表-3 に示したように大型企業は 52.0% で前月より 0.1% ポイント上昇、中型企業も 50.0% で 0.1% ポイント上昇したものの、小型企業は 48.6% で 0.5% ポイントの悪化となった。小型企業は拡張・収縮の分岐点となる 50% を 2 ヶ月連続で下回ってきており、中国政府及び中国人民銀行はこれまででも小型企業向けの金融支援を打ち出してきたが、今後はさらに小型企業向けの支援策が強化される可能性があるだろう。

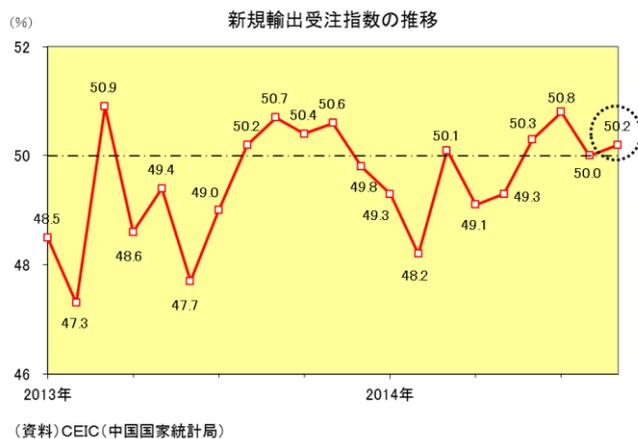
(図表-3)



【 新規輸出受注は 50.2% とやや改善 】

また、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は 50.2% で前月より 0.2% ポイント上昇した (図表-4)。4 ヶ月連続で拡張・収縮の分岐点となる 50% を上回ってきており、輸出は緩やかながらも改善傾向を続けていると見られる。欧米経済の回復を受けて、中国の 7-8 月期の輸出は 4-6 月期を上回る伸びを示していたが、10 月 13 日 (月) に発表される 9 月も改善傾向が続く可能性が高まったといえるだろう。

(図表-4)



【 予想指数は低下も高水準 】

一方、今後 3 ヶ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は 56.0% となった (図表-5)。前月よりは 1.9% ポイント悪化したものの、拡張・収縮の分岐点となる 50% を十分上回る高水準で、直近のボトムである 6 月の 54.8% も上回っている。

全体としては、住宅市場の変調などで高まりつつあった景気失速懸念を払拭するほど良くはないものの、景気失速懸念を若干薄れさせる内容だったといえるだろう。

(図表-5)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。